



建設業における業務上疾病発生状況 (令和7年)

編集部

「令和7年業務上疾病発生状況」が令和8年8月に厚生労働省から公表されました。

令和7年の業務上疾病発生状況は全産業で12,122人、建設業は818人と昨年よりも161人増加しました。

建設業で働く方々の疾病は、熱中症と腰痛が上位を占めています。夏の暑さは厳しさを増し、また、高齢化による腰痛の増加も懸念されます。熱中症対策、腰痛対策に積極的に取り組んでいただき、建設現場で働く方々が快適な職場で、心身ともに健康な状態で仕事に臨めるよう、9月の「全国労働衛生週間」の準備期間中に、安全で安心な職場環境の整備をお願いいたします。

令和7年の業務上疾病発生状況

1 年次別業務上疾病発生状況

令和7年の建設業における業務上疾病の被災者数は818人（前年比161人増）で、全産業に占める割合は6.7%（前年6.0%）となりました。建設業において最も多かった業務上疾病は「熱中症」292人、次が「災害性腰痛」187人、となっています。

表1 年次別業務上疾病発生状況（令和3年～令和7年）

年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
疾病分類	業種	建設業	全産業	建設業	全産業	建設業	全産業	建設業	全産業	建設業	全産業
(1)負傷に起因する疾病 (うち災害性腰痛)		333 (206)	6,731 (5,847)	370 (213)	7,081 (5,959)	351 (191)	7,483 (6,132)	304 (183)	7,596 (6,291)	354 (187)	8,085 (6,613)
物理的 因子による 疾病	(2)有害光線による疾病	—	8	—	19	—	8	1	3	3	13
	(3)電離放射線による疾病	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	(4)異常気圧下による疾病	2	11	1	16	2	38	2	32	3	25
	(5)異常温度条件による疾病 (うち熱中症)	134 (130)	707 (561)	182 (179)	1,028 (827)	224 (209)	1,323 (1,106)	233 (228)	1,472 (1,257)	300 (292)	1,966 (1,803)
	(6)騒音による耳の疾病	2	5	3	12	1	8	1	5	1	6
	(7)(2)～(6)以外の原因による 疾病	7	37	8	40	8	40	3	52	5	41
	(8)重激業務による運動器疾 患と内臓脱	5	96	5	145	—	114	2	156	1	121
作業 状態に 起因する 疾病	(9)負傷によらない業務上の 腰痛	1	29	—	31	6	39	1	50	2	51
	(10)振動障害	1	6	3	10	2	4	—	9	1	5
	(11)手指前腕の障害及び頸肩 腕症候群	4	193	6	218	11	249	4	256	9	330
	(12)(8)～(11)以外の原因による 疾病	4	102	7	135	9	176	5	161	10	238
	(13)酸素欠乏症	1	3	3	6	2	4	—	4	4	4
がん	(14)化学物質による疾病（がんを除く）	49	248	43	255	53	279	38	289	44	293
	(15)じん肺症及びじん肺合併病（休 業のみ）	55	130	48	120	42	97	34	83	42	89
	(16)病原体による疾病 (新型コロナウイルス感染症によるもの)	2 (1,153)	162 (19,332)	9 (2,766)	160 (155,989)	9 (148)	279 (33,637)	9 (22)	442 (15,196)	6 (3)	455 (4,925)
	(17)電離放射線によるがん	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(18)化学物質によるがん	3	4	—	2	1	4	1	3	4	6
(20)(21)(22)過重な業務による脳血管 疾患心臓疾患	(19)(17)、(18)以外の原因による がん	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
		14	265	23	227	30	351	19	350	29	394
合計		617	8,739	711	9,506	751	10,496	657	10,963	818	12,122

資料：厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」

(注) 1 表は休業4日以上のものである。

2 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。

3 「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。

4 本統計の数字は令和7年中に発生した疾病で令和8年4月7日までに把握したものである。

5 新型コロナウイルス感染症に患によるものを除く。

2 年次別業務上疾病者数の推移

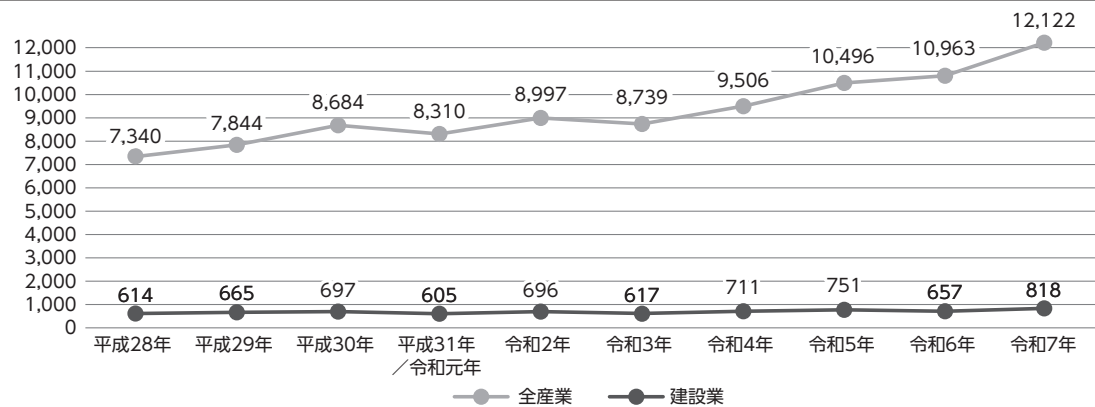


図1 年次別業務上疾病者数（休業4日以上）の推移（平成28年～令和7年）

資料：厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」

（注）新型コロナウイルス感染症り患によるものを除く。

3 業務上疾病者数千人率の推移

表2 業務上疾病者数千人率の推移（令和3年～令和7年）

年	業種 項目	建設業		全産業	
		疾病者数（人）	疾病者数千人率	疾病者数（人）	疾病者数千人率
令和3年		617	0.2	8,739	0.2
令和4年		711	0.2	9,506	0.2
令和5年		751	0.3	10,496	0.2
令和6年		657	0.2	10,963	0.2
令和7年		818	0.2	12,122	0.2

（注）1. 表は休業4日以上のもの。

資料：厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」

2. 疾病者数千人率＝ $\frac{\text{疾病者数}}{\text{労働基準法適用労働者数}} \times 1,000$
3. 新型コロナウイルス感染症り患によるものを除く。

その他の業務上疾病発生状況

以下、各業務上疾病の発生状況について発生状況の推移を掲載します。

1 じん肺症及びじん肺合併症の発生状況

令和7年の業務上疾病における「じん肺症及びじん肺合併症」は、建設業で42人となり、全産業の47%（前年41%）を占めています。

表3 じん肺症及びじん肺合併症発生状況の推移（令和3年～令和7年）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建設業	55	48	42	34	42
全産業	130	120	97	83	89

資料：厚生労働省「業務上疾病発生状況等調査」

2 振動障害の労災補償新規認定状況

令和6年度の振動障害の労災補償新規認定数は、全産業210人、うち建設業は135人（64.3%）となっています。

表4 振動障害の労災補償新規認定状況の推移（令和2年度～令和6年度）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
建設業	146	121	128	153	135
林業	27	22	24	14	19
鉱業	24	15	5	3	7
採石業	4	4	3	3	3
製造業	32	30	43	20	25
その他	36	29	17	18	21
全産業	269	221	220	211	210

注：各年度中に新規に支給決定を行った者の業種別人数。

資料：厚生労働省「業務上疾病の労災補償状況調査結果（全国計）」

3 酸素欠乏症等の発生状況

令和7年の建設業における酸素欠乏症の被災者数は4人、硫化水素中毒の被災者数は2人となっています。

表5 酸素欠乏症発生状況の推移（令和3年～令和7年）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建設業	1 (1)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	4 (3)
全産業	3 (2)	6 (5)	4 (4)	4 (1)	4 (3)

資料：厚生労働省「酸素欠乏症等の労働災害発生状況」

(注) 1. () は死亡者数で、二次災害での被災者数も含む。

2. 安衛施行令別表第6に掲げる酸素欠乏危険場所等での作業で発生。

表6 硫化水素中毒発生状況の推移（令和3年～令和7年）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建設業	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)
全産業	6 (2)	5 (2)	2 (0)	4 (2)	10 (7)

資料：厚生労働省「酸素欠乏症等の労働災害発生状況」

(注) 1. () は死亡者数で、二次災害での被災者数も含む。

2. 安衛施行令別表第6に掲げる酸素欠乏危険場所等での作業で発生。

4 熱中症の発生状況

表7 熱中症の推移（令和3年～令和7年）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建設業	130 (11)	179 (14)	209 (12)	228 (10)	292 (5)
全産業	561 (20)	827 (30)	1,106 (31)	1,257 (31)	1,803 (19)

資料：厚生労働省「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」

(注) () は死亡者数。

5 石綿による肺がん・中皮腫の労災保険給付支給決定件数

令和7年度（速報値）を見ると、建設業における石綿による肺がんの支給決定件数は382件、中皮腫の支給決定件数は437件となりました。全産業に占める割合は、建設業が一番高くなっています。

表8 石綿による肺がん・中皮腫の労災保険給付支給決定件数の推移（令和3年度～令和7年度）

業種	区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫
建設業		213	351	286	354	300	395	303	383	382	437
全産業		348	579	418	597	433	642	424	628	530	702

資料：厚生労働省「石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ」

(注) 1. 「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づく特別遺族給付金の新規支給決定者数は除く。

2. 令和7年度は令和8年6月発表の速報値。

6 脳・心臓疾患の労災補償件数の推移

令和7年度の建設業における脳・心臓疾患の労災補償件数は、請求件数164件（前年度比36件増）、支給決定件数21件（前年度比5件増）となっています。

表9 脳・心臓疾患の労災補償件数の推移（令和3年度～令和7年度）

業種	区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数
建設業		105	17	93	30	123	23	128	16	164	21
全産業		753	172	803	194	1,023	216	1,030	241	1,254	217

資料：「過労死等の労災補償状況」

7 精神疾患の労災補償件数の推移

令和7年度の建設業における精神疾患の労災補償件数は、請求件数246件（前年度比54件増）、支給決定件数98件（前年度比17件増）となっています。

表10 精神疾患の労災補償件数の推移（令和3年度～令和7年度）

業種	区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数	請求件数	支給決定件数
建設業		122	37	158	53	194	82	192	81	246	98
全産業		2,346	629	2,683	710	3,575	883	3,780	1,056	4,958	1,082

資料：「過労死等の労災補償状況」